

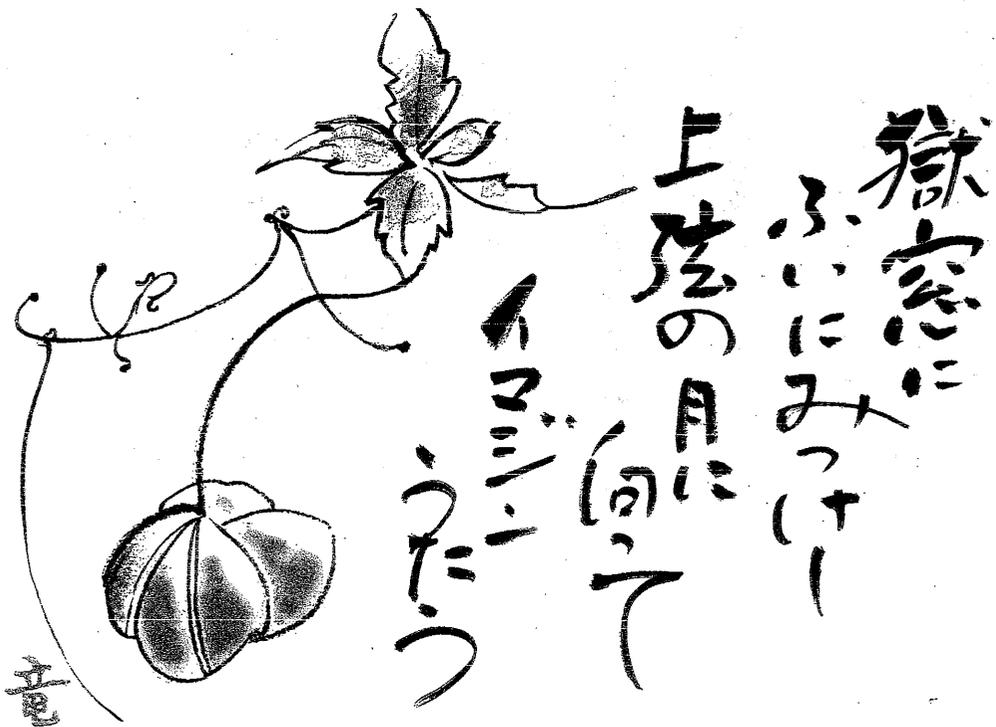
オリーブの樹

第113号

2012年9月16日

شجرة الزيتون

早期釈放！ 重刑策動をはね返し、重信さんを支えていこう！



目次

- P 2 7月8月の歌 重信房子
- P 3 独居より 重信房子
- P 15 ヒロシマ被爆者 米澤鐵志

重信房子さんを支える会

七月八月の歌

重信 房子

山笑い空笑いまた人笑う七・一六の革むる道あらた

友よりの暑中見舞いはどの便りも脱原発のデモを語りぬ

遠花火近づきくれば一斉に数百の椋鳥飛び立ち騒ぎぬ

蝉時雨抗癌剤の副作用にじんじん響く蒸し暑い獄

逝く夏を送るがごとく赤とんぼ立秋の空高く巡回

猛る夏房に見つけた風の道背をあずければ砂漠の風吹く

新月の静かな闇に遠くの灯獄の螢の狂宴のごとし

妻わらの己の短い影連れて狭いベランダ千歩と歩む

吾子帰国笑顔はじける面会室語るは一転戦場の日々



独居ゆい 7月10日-9月6日

「グローバル時代」はいつでも拝外主義を育てています (8月15日)

重信 房子

7月10日 梅雨を忘れるような晴天です。午前中、姉たちが医師面談をしてきて、そのあと面会です。ニコニコ嬉しそうに姉と義姉。メイは出張中。「よかったね! 腫瘍マーカーが正常化したのね。本当にいい先生たちの適確な診断治療と、あなたの前向きパワーのおかげね!」と大喜び。「それに友人たちの祈りやお百度参りや励ましパワーもね!」と私も嬉しくてニコニコです。晴天のうれしい面会でした。

午後はCT撮影の検査。ガンになって以来のCEA腫瘍マーカー正常化でうれしくてたまりません。

7月11日 今日晴天。梅雨明けはまだ? 今日は部屋検査とノート検査。部屋検査では荷物本など手術でそのまま増えてしまったもの多すぎると注意されました。廃棄か宅下げしなければ。

午後は主治医の診察。病理検査、腫瘍マーカーの結果が出てから初の診察。CEA腫瘍マーカーの正常化を喜んでくださり、また担当した大腸内視鏡手術で摘出した小さい8ミリのポリープがすでにガン化していたことは、「あの形からすると予想外だった」と言っていました。もう一つ、上行結腸のところに5-6ミリのポリープがあるのですが、それはガン化しないか尋ねたところ、1-2年は大丈夫でしょう。1年に一度は内視鏡チェックの方がよいとのこと。また小腸ガンがリンパ節の再発転移だったことについては、3年前の大腸の手術の時には、その前後に微少転移であったかもしれないが、小さかったものだったのだからとのこと。そして「低分化ガン」は人間でいえば子供のようなもので、成長著しくガン化、他の臓器へ転移しやすいが、抗ガン剤など効きやすいとのこと。

今後微少転移に対処するため、「補助治療」として3クールくらいXELOX療法をやった方がよいということをお話と話しつつ結論づけました。大腸ガンの治療の選択肢は3つ。小腸ガンの治療法はないので大腸ガンのものを活かしています。一つはFOLFOX系(XELOX療法もこのカテゴリー)、二つはFOLFIRI系(XELOX療法が効かなくなったら使おうとしていたもの)、三つは分子標的治療、これは社会では一般化しているがここではやっていない。もう本当は補助治療でもXELOX療法は腫瘍マーカーが上昇に転じていたので効果があるかわからないが、次の

治療のFOLIFI系は取っておくことにして、補助治療としてXELOX療法を7月下旬に傷口がおさまった後から始めることを話して確認しました。

友人からお便り。もうノウゼンカズラが咲いているとのこと。

7月12日 昨日は小雨で大風。熊本では「これまで体験のないような大雨」と気象庁が注意報を出し、豪雨に死者15人不明11人ということだったとのこと。今日は蒸し暑い夏日。千夏ちゃんの送ってくれた「金曜日」届きました。ありがとう!

Y先生、暑中見舞いありがとうございます。Mさん大飯の現地闘争の若者たちの感動的な姿、ああ、現地に駆けつけたい! Tさんからも当日のSさん座り込みごぼう抜きされてふんばってる新聞記事とかもちょうど届きました。さわさわの仲間みんな自然に結集してますね! Yさん、本・資料ありがとう。姉からの「季寄せ」も届きました。ありがとう。U君資料、便りありがとう。

7月16日 連休の海の日。夏日続きで窓の外にむくげの花ピンクに咲きはじめました。蒸し暑い独房。夏の休日には10時、3時半、7時の3回、係員の号令で3分間拭身できますが、すぐに汗ばんできます。「さよなら原発7・16の集い」午後13:00前のスポットニュースで続々と人が集まっていますとのこと。「土曜会」の仲間たち、4大学共闘で幟、旗、横断幕準備で、梯団組んで進むとのこと。どうだったかな? それに米澤さんと「祭」で交流会始まったかな? 連帯!

7月17日 梅雨明け。昨日の「さよなら原発7・16の集い」17万人もの人々が集まったとのこと。一方では政府の「新エネルギー政策」を8月に決めるとかで、30年の原発割合を0%、15%、20-25%の3つの選択肢を示して、各地で国民の声を聞くと、7/14-16まで行ってきたことは「やらせ」で、またまた博報堂や電力業界の汚らしい操作。そんなことをしなくても7・16の国民の声を聞きに政府は代々木公園に行き、各地の声や主催者と話し合えばいい。再稼働の布石を時間を長いタームでごまかしてし

ます。国民市民の声がさらに変革をつくり出しそうです。友人たちから脱原発の盛り上がりのお話と私の手術の成功を喜んでくださるお便り何通も受け取っています。Nさんありがとう。Mさん私の前に詠んだ一首“重力に負けずに天に向き昇る台風一過のコスモスが好き”を書き添えて喜んでくれています。姉も大谷弁護士や友人たちが喜んでくれていること知らせてくれました。みんなの励ましのおかげで、前向きに治療を続けてこれたせいです。

7月18日 Kさんお便りありがとう。八王子は7・16の日、36.5度だったのですって！私の方は新聞の予想温度しかわからずです。ここは盆地なので7・16以降ずっと暑い。病気のことも励ましありがとう。デジカメ歌人美しい花、夏椿ですか？沙羅の花。芥川龍之介の詩の相聞歌「また立ちかへる水無月の／嘆きを誰にかたるべき。／沙羅のみづ枝に花さけば／かなしき人の目ぞ見ゆる」のかなしきは、愛しきかもしれない悲しきかもしれない、あなたにはどのようにみえますかとお便り。沙羅は慈しみの花のように思えます。だから両方かしら。Tさんからは“くちなしや獄にうれしき事ありぬ”。

7月19日 真夏日。今日はグラウンド運動日ですが、まだ傷口がふさがっていないので許可下りず。ベランダで麦わら帽子をかぶって1300歩のウォーキング。汗びっしょり。でも気持ちいい。午後、暑さを遮るように夕立！キラキラと太陽が照っているのに獄窓の手の届きそうな桜の大本は大粒の雨がそそいできれいです。少し涼しくなりました。

「オリーブの樹」112号届きました。ちょうど3回目の手術について腫瘍マーカーが下がったことまで載せることができ、一区切りを「暑中見舞」で伝えることができ嬉しかったです。辻邦さんも久しぶりありがとうございます。表紙の紫陽花美しいです。カラーならいいのに！と思っていたら、今ちょうど（夕食前）どっとお便りが届き、竜子さんからカラーの紫陽花、短歌も表紙のとおりのもの受け取りました！感謝です。

Nさんが守ってくれたこと書いてありますが、手術が無事に終わったこと喜んでくださり、「Drがくわしく親切に説明してくれるのですね」と竜子さん。夫のNさんの時、記録したくてくどくど聞いて、Drに癩癩を起こされてしまった苦い思い出を伝えてくれます。本当に。ここのDrは東狗と違って、きちんと説明す

るのが義務責任と考えておられ、節目では処遇首席も加わって診断を聞き、また積極的に家族面談を計画してくれます。ここのDrたちは他のやはり刑務所と違って医療刑務所だからでしょうか。大阪医療刑もこと同じようにきちんとしていました。でも丸岡さんの時はどうだったのでしょうか……。

宮崎先生お便り感謝。「オリーブの樹」で腫瘍マーカー正常化したこと知って、すぐお便りくださったのですね。6月の欧州旅行。ご夫妻とも好奇心で若々しく過ごされたのですね。庭の梅の木から梅のジュースの話、読んでいただけでつばが出てきます。おいしそう。すっぱい！です。猛暑に気をつけてください。S子さん「はなかみ通信」ありがとうございます。まだ手元には届いていませんが楽しみ！Mさん10万人集会東京に出発寸前のあわただしい中、Sちゃんのお便り、いい文ですね。

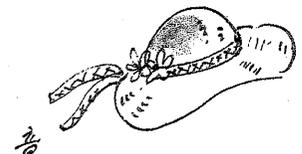
クラケン土曜会医務官の「低分化ガン」の説明や助言ありがとうございます。加えて「7・16」大成功でしたね。米澤さんの被爆者の語り部から聞く会も大成功だったのですね。由井さんも「なんとか活字に残そう」って！ありがとうございます。関西の友人がひよっとしたきっかけで「土曜会」とつながりまた広がる、そんなことが私の元気の薬です。

さっきの夕立で少し涼しいのでホッ。今日は東京、初の猛暑日。シリアではアサド政権の国防大臣他が暗殺され、ダマスカスも戦乱の危機。イスラエルは米国と共に反政府勢力を支援しながら、シリア人の「民主化変革」が「反イスラエル」にならないようトルコや欧米と布石を打って、ポストアサド政権を無想しているでしょう。でもイスラエルのシリア、パレスチナ、レバノン占領がある限り、反イスラエル反米は続くでしょう。メイはシリア取材中です。

7月20日 今にも降りだしそうな曇り空。蒸し暑い。今日は外科医が傷口をチェックしてくれました。「来週からの抗ガン剤補助治療に支障はないのか？副作用とかまた傷口の回復が遅れたりとか。もう少し抗ガン剤治療を遅らせた方がいいのではないかと」とDrに尋ねました。Drも「そうですね、補助治療は念のために行うものなので、急がず、傷口がふさがってからでもいいでしょう」とのこと。抗ガン剤治療の方は主治医の内科医が担当しているので、外科医からも伝えてくれるとのこと。また「CEAの数値についても、もし大腸の8ミリのポリープ、ガン化しているものだけだったら、どうだろうか」と尋ねました。「なぜなら、

まだ上行結腸に5-6ミリのポリープがあるので、それがガン化したらCEAで捕捉できるのかを知りたいためです」と云うと、Drは「ああ、あの大腸ポリープのガン化していたものだけだったら、まずCEAの数値に異常は表れなかったと思います。ポリープの一部ガン化でしたから。もっと悪化しないとCEAには反応しないでしょう」。上行結腸のポリープは年1回くらいの内視鏡チェックが必要と主治医も云ってましたが、外科医もそれが良いとのことでした。来週から週1回雨でない限り屋外の運動可です！

7月22日 週末の新聞はシリアの内戦激化を伝えていました。レバノンへの避難民が数日で3万人を超え死傷者も数百人。国連安保理の欧米案、アサド政権の市街地からの撤退などの条件付の監視団の20日期限の延長は、ロシア中国が拒否権で採択されず、20日期限ぎりぎりの英再提案でアサド政権のみならず反体制派双方に停戦を促すものに近いからとロシアも同意して成立したようです。ちょうど中東ではイスラムの断食が2日から始まり、それに合わせて反体制派が攻勢。すでに去年から反体制派を後押しするアラブ連盟のスニー派王国サウジアラビア・カタール、それにトルコや米欧のイスラエル優位を求める連合勢力は、アサド政権打倒の戦略のもと動いてきました。メディアによるフレームアップの情報戦、トルコを中心とした反体制派の軍事基地の設営、カタールやサウジによる武器供給、米欧トルコなどによる情報作戦攪乱行動などに対し、アサド政権は軍事的に無差別攻撃を拡大し、ますます劣勢を余儀なくされているのが実情でしょう。そして劣勢になればなるほどアサド政権はファシオ化反動化し、支持層を失う悪循環です。シリア一国でもちこたえるにはシリア国民が政権を支持するか否かにかかっているのですが、それもすでに崩れはじめています。変革をめざした「双方の妥協」は、欧米アラブ連盟にバックアップされた反体制派にはもう眼中にないようです。軍事的制圧戦争です。「民主」よりも、どちらが兵站軍事力を優位に立たせるかという局面に入り、欧米はイスラエルの安全保障・反イランの戦略のもと、アサド政権を打倒するまで軍事、国際機関を使ってつづけるでしょう。かつてのユーゴスラヴィア、近くはリビアのように。欧米と協調する政権を作りあげるまで。大多数のシリア人は「反体制派」をも支持しているわけではありません。でも一時的に欧米サウジ・カタールや外部の利害を一致する者たちが権力を分かち合ったとしても、次にくるのはさらなる



変革を求める「宗派主義」に反対する人々のサウジやヨルダン湾岸王制へとブーメランのように民主化を求める波であり、またイスラエルの不当な占領支配を変革しようとする波です。世界の公正を求める岩のように。

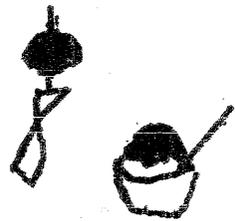
7月23日 朝採血採尿。腫瘍マーカーの結果が聞けるかな。と思ったけど25日水曜まではムリみたいです。入浴後、傷口チェックしましたがまだ少し開いています。ちょうど胃の下で、座ると折りまげるのでなかなか閉じないようです。Mさん、東京の7・16のすばらしい光景を伝えてくれて感謝。宮崎先生お便り感謝。パンフ、プリント、雑誌、写真なども受け取りました。

7月25日 今日で手術から1ヶ月目。主治医の診察で7/23の採血の腫瘍マーカーを知らせてくれました。前回手術後の7/9に腫瘍マーカーCEAが4.7（正常値は5.0以下）にはじめてガン発見以来下がって大喜びしましたが、今回は4.3と正常値です。CA19-9は9.9と、これは子宮ガンを摘出した3月からすでに正常化しています。今後の再発に関するチェックは、CEAの血液検査、内視鏡、CTなどでフォローした方がよいでしょうとのこと。術後の微少転移をへらし再発を防ぐため、「術後補助治療」を8月6日から第1クールを行うことにしました。3クールやったらいいでしょうとのこと。

友人たちは暑さの中、「脱原発」「反核・ヒロシマ・ナガサキ」と反戦平和を求める数々の行動に熱心にかかわっているお便りが多いです。それは病棟の中にも、前向きな力が湧いてきます。市民住民の3・11以降の切実な変化、「他人事」でなく「自らの問題」「当事者」として取り組んでいる姿と、鈍感で従来どおりの「安全神話で示した思考停止」が続く支配層や政治家たちの違いがくっきり。「消費税増税」「大飯再稼働」「オスプレイ」と、低姿勢で実は傲慢・国民をなめている野田政権を終わらせたい！そんな共通の思いが首相官邸金曜日行動を日々広げているようです。連帯！

Yさんアルジャジーラありがとう。新実さんの「独居通信」ありがとう。I子さん暑中見舞いありがとう！「祝CEAの正常化！」もありがとう。「電気は足りているのに！大飯を動かした日から、火力発電所8ヶ所止めるなんて！」と怒りつつ元気にデモ参加、いいなあ！Mさんも3・11フクシマで「安全神話」の「集団催眠」がとけて、代々木公園に集まった17万人の何十倍何百倍の人たちが「脱原発」に関心があるすごい変化がこれからの力と語っています。「汗拭くも楽しからずやデモの後」いいですね。「デモの波」でもいい。デモ最中のイメージです。ちょうどM子さんのお便りや資料届いたと今日告知受けました。今週中に受け取れるのを楽しみ！ありがとう！宮崎先生ありがとうございます。本もうすぐ届きます。本や雑誌楽しみにしています。

猛暑御見舞！



7月27日 姉の面会。月末までには来てくれると思っていましたが、午前中に入浴中だったせいでずいぶん待たせたようです。一昨日Drに聞いた腫瘍マーカーが再び正常値(CEA4.3)だったことを伝えました。姉もそれが知れたかったようです。親族の話などしているうちに30分。楽しいひと時はすぐ終了です。夕方、「土曜会山中レポート」ぶ厚いお便りありがとう！7・16「さよなら原発」の17万人の集いに結集した我らが仲間たちの様子。「四大学全共闘」の小集会を行い、そのうえで会場に参加。その後は「四大学共闘芝工大・専修大・明治大・日大」の横断幕に「脱原発」と大きく真ん中に記しデモ行進。「デモは先頭集団のすぐ後の梯団で出発。神宮前交差点」などとドキュメント風にみんなの流れを写真でレポートしてくれてよくわかります。デモの後、「祭」で総括懇親会で米澤さんの被爆体験をみんな深い感慨をもって聞き入ったとのこと。そのテープも起こして伝えてくださいました。この内容はぜひ「オリブの樹」に掲載してほしいです。米澤さんは関西の支援誌「さわさわ」にも被爆のことなど書いてくださいました。また「労働運動研究」誌も私への支援について書いてくださっていました。その後由井さんの本「重信房子がいた時代」

をきっかけとして「土曜会」とつながり合い、何となく楽しい交流でしょう。みんなに連帯！

[米澤さんの話は今号に別掲]

Kさん他暑中お見舞いありがとう。

7月28日 蒸し暑い。でも今日はハッピーでしたよ。夜7:00~8:30まで花火見物でした！今日隅田川の花火とか。でもそれとはちがって、蕨から西へ1.5kmくらい(音速で測って)の高尾の方角です。夜空に次々と花が開いていました。でも30分か1時間くらいでいいのに。私の4Fの部屋の眼前にはちょうど桜の老木のでっぺんが手が届くように広がっています。日没時になると数十羽ずつ徒党を組んだ椋鳥が帰ってきてねぐらにしています。何百か、壮観です。細い枝にとまり損ねて、落ちそうであわてたり場所争いをしたり、毎日没時楽しく笑ってしまいます。深夜寝ぼけて鳴いたりするのもいてかわいいです。この鳥たちが花火のどかーんという音で、ちょうどねぐらを定めてやれやれというところでしたが、叫びながら空を黒くうずめていっせいに飛び立ちました。でも30分ほどして「危険なし」と察知したのか順々に戻ってきました。鳥たちには迷惑なイベントだったようです。土曜日夏の夜の物語です。

7月29日 今日の新聞(昨日の夕刊と今日の朝刊)はオリンピック開会。なでしこスウェーデンと引き分けなどオリンピック満載。その間に諸費税増税や再稼働原発は既成事実のように積み上げられています。首相官邸を包囲するデモが日毎に増えていることも無視して。変革は新しい力を育てているのが読めない見えないのでしょうか。週末、「フォーリンアフェアーズ」No.7に少し注目すべき論文がありました。米外交評議会のこの親シオニズム誌が異なった論文をめざらしく載せていました。「現在のイラン危機の多くは、テヘランが核開発を試みているからではなく、イスラエルが核を保有していることから派生している」という現情認識に立った(その限りにおいては正しいと思う)「なぜイランは核兵器を保有すべきか」というタイトルのケネス・ウォルツ カリフォルニア大名譽教授の論文です。「現実には、イランの核武装化は最悪ではなく最善のシナリオだ。この場合中東の軍事バランスが回復され戦略的均衡を実現できる見込みが最大限高まる」と述べている。そして「イラン核武装化の脅威がひどく誇張されているのは、まちがった懸念が広がり、国が国際システムの中でどのように行動するかについて、

基本的な誤解が存在するため、議論がゆがめられている」と述べています。軍事均衡による緊張緩和論者の弁ですが、「イラン攻撃せよ」ばかりの論調とちがって読みごたえはありました。

昨夜の花火は八王子のものようです。他に立川(昭和公園)でも昨日は花火大会だったようです。

7月30日 もう7月も終りとは!! 金曜の入浴以来月曜は入浴が待ち遠しい。汗でベタベタですから。今日はカンパも受け取りました。ありがとうございます。デジカメ数人からは大暑のお便りに写真は梅雨明けの晴間に梅干した美味しそうな自宅での撮影。いい色のなつかしげな梅干!“後ろ手でそっと戸を閉め友が去るカチャの音しか思い出せない”Tさんレグマジック運動一汗のエクササイズはいいですね。「さよなら原発」を地元でつくりはじめていること素晴らしい!“われらみな三・一一に目覚めた行動派なり草の根派なり”の歌とお便りです。A人さん「国賠通信」ありがとう。中身はまだ未交付。元気ですか? 猛暑でも夏はいい! 元気益々の夏です。

8月1日 晴天続きのまますでに8月に入りました。昨日午後はお盆の法会がありました。熱中症予防で説話はなく、お経の間に焼香するのみでした。(この法会はいつも浄土真宗だそうです。)

今日はもう赤とんぼがつんつんすいと4階の窓の外の桜の葉の回りを飛び交っているのを見つけました。布団干しにシーツ交換に入浴で気持ちいい。といっても暑い布団が戻ってきて冷めるまではホットカーペット状態ですが。

今日は医務部長の診察。「手術後から顔を合わせる機会がなかったが体調はどうか」と尋ね、8月6日からの補助治療の計画を確認しておられた。「何かありますか?」というので、「直腸の8ミリのポリープを摘って病理検査したらガン化していたので、上行結腸にある5~6ミリのポリープについても、ここから出て行く前に摘出した方がよいと思うのでお願いしたい」と伝えました。主治医に次回会ったら云おうと思っていたことです。「それは主治医と相談しなさい」とのこと。

8月2日 鳥のさえずりと一緒にミーンミーンと蝉の初鳴き。ここは多数派がミンミン蝉です。やっとな猛暑らしい夏の声。今日はグラウンドの運動。夏草が丈をのぼし、かやつり草や茅などが道の辺に続いています。グラウンドには赤とんぼ、しおからとんぼが旋回して

います! 汗をびっしょりかきながら麦わら帽子をかぶってウォーキング30分。まだ傷口ふさがったばかりなので、走らずウォーキングだけにしました。その後官本図書館の貸し出し。お盆休みにかかるので(2週間に一度貸借)一般本5冊と特別本2冊の計7冊。古い本ですが読めそうな本を探しました。「瀬島龍三参謀の昭和史」(保阪正康著)、この本は臨調(臨時行政調査会)行革と政府(鈴木善幸や中曽根)のプレーンとして活躍する伊藤忠商事会長で、元関東軍参謀の瀬島龍三が本人や回りが云うのとちがって、かなりソ連におもね、極東国際軍事裁判(東京裁判)で、ソ連側証人として出廷していた時の内容などを事実に基づいて明らかにしているものです。結局戦前の狡猾な戦犯族の人々が戦後も生きのびて官僚国家の骨格を維持しているものとして、象徴的に示される20年以上前に出版された本です。

今日はお盆のスケジュール(免業、入浴日や願書の提出や切日など)が告知されました。「泉水国賠通信」「磯江通信」「証言 連合赤軍」など手紙・資料受け取りました。「泉水国賠通信」に掲載されている松下竜一さんの文が良いですね。泉水さんへの過酷な弾圧を改めて怒りと共に辿っています。丸岡さん泉水さんと話したいことが押し寄せてきます。磯江さんも病気の中、厳しい懲役や圧迫に対し、旧友たちが「共に」という思いを込めて支えて闘っている様子を「通信」から知ることができます。健闘に連帯しつつ。「証言 連合赤軍」は「浅間山荘四十周年シンポジウム」の報告です。当日のそのままの参加者、当事者の考えが伝わってきます。理念と捨て身の使命感に制約され、それに自ら囚われていった各人の闘いの当時を、多面的にとらえ返していくことは、これを節目にさらに続くのだと思います。「革命なんて便利なもんだな。『殺し』や『たたき』を正当化して」と反感を持っていたと昔泉水さんが語っていたのを思い出します。ヒューマンズを革命の基に据えず、それは「日和見」のごとく対立排除ととらえる傾向の行動がありました。また連赤当事者の青砥さんが語った言葉を噛みしめます。「誰か一人強い声を出せば状況もひっくり返った可能性はあったんだ。だが誰もそれが出来なかった。そこに連赤の根本的問題があったと僕は自分の問題として総括している」と。日本の新左翼運動のさらには日本の社会そのものの欠陥と共通していると思います。かつての仲間たちと40年を経ています。いつか自由に連赤について語り教訓を伝えたいと、「証言 連合赤軍」を読みつつ思いました。

8月3日 お便り資料受け取って読んでいます。「人民新聞」は一新したスタイルで自己革新めざしてますね。「レコンキスタ」も。その他友人たちありがとう。今日だけ7時過ぎからオリンピック番組。

8月6日 ヒロシマデー。朝方、ペランダの運動に出たら雨がパラつきだして中断。にわか雨が降って窓から夏草の匂いが入り込んでひんやりとしていい気分。午後から術後補助療法として「XELOX療法」の予定で午前中入浴。でも午後はDrの都合で時間変更となり、8月9日に点滴から第1クールを始めることになりました。

友人たちからのお便りが楽しみです。Kさんありがとうございます！まずお便りと6月に中津で行われた「第八回竜一忌」での小出裕章さんの講演のコピー受け取りました。小出さんの松下さんへの敬愛の気持も、また国と東京電力を犯罪者と告発する具体的な話も、長い宇宙、地球の歴史で、いかに原子力がどんな存在かを語る姿が目につかびます。「泥のごとできそこないし豆腐投げ怒れる夜のまだ明けざらん」を小出さんはこの一首をあげ、松下さんを語りその「どこまでも優しく生きる」姿が本当の強さなんだと思うと語っておられます。全く同感。同じ感想を「豆腐屋の四季」を読んで実感し、「オリーブの樹」に私も記したことがありましたよ。良い文をありがとう。

植垣さんがよど号の人らに会いに行ったとのこと。昔の仲間には苦勞も誤りも悔いもあったからこそ共有できる特別な感情が湧くものですね。Mさんの思い、地元での「さよなら原発」の立ちあがりに向けた努力に連帯！そこでの一人芝居もね。「涼欲しや伏せつまるびつ草の上」「今日デモで会うかも夏の夜の夢」の句もいいですね。ヒロシマでは「おおい」や「フクシマ」そして「さよなら原発」を訴えた人々が合流し、核も

原発も人類と共存できないと訴えているでしょう。「土曜会」「さわさわ」の友人たちも必死に猛暑の中でオリンピックより大切なことを訴えているでしょう。ロンドンで、日本の選手たちもヒロシマの平和宣言に言及してくれたらいいのに！

八・六の日。ヒロシマナガサキチェルノブイリフクシマ最後とせよ！と、非核脱原発日本・世界を祈り怒り訴える人々が浮かびます。

8月7日 暑中見舞いKさん他ありがとうございます。また「新法128条により不許可。釈放時交付」と告知を受けたハガキ一枚ありました。

8月8日 午後、昨日と一昨日分の受信資料がたくさん届きました。ありがとうございます。Tさん、切手お手紙資料感謝！京都みどりの党の結成の様子や友人たちの様子、いっぱい実感できます。楽しい本も感謝。「かりはゆく」Mさんの訪朝記。行ってたんですね。果敢に挑戦し映画づくりメドたった？全部きっちり網羅しているようですね。期待しています。「支援連ニュース」で上野のぶ代さん亡くなられたと知りました。享年101歳。公判も支えてくださり、100歳近くまで俳句いつも勢いのある句で励ましてくださいました。感謝と共にお悔やみとお別れの想いを伝えます。いつものぶ代さんに代わって代筆して下さった御家族にどうぞよろしくお伝えください。Kさんありがとうございます。楽しく読めます。友人のお便りや「支援連ニュース」などありがとうございます。「選択」「解放」その他資料、ちょうどこれからお盆休みにしっかり読みます。

8月9日 今日は午前中から術後補助療法の点滴です。大腸の抗ガン剤XELOX治療です。ガイドラインから1グレード落として、薬量を少しへらしてエルブラッド(オキサリプラチン)150mgの点滴とゼローダ錠剤1日8錠です。点滴処置をしてから、主治医がこれまでのカルテをチェックし、くわしく説明してくれたうえで、上行結腸(「大腸回盲部」というのが正しい。盲腸に近いところ)にある5-6ミリのポリープをガン化も考えて摘出することを賛成していただきました。今の補助治療が10月に終了し、その後を予定して下さるとのこと。「一言で言えば、重信さんはガンになりやすい」と、2009年から大腸・小腸ガン切除、子宮ガン・小腸切除、さらにPET後小腸・大腸の結果からそう考えて対処するのが正しいし、これからも転移ガン再発はありうるという前提で生きていこう

にとアドバイスしてくださった。

点滴を2時15分に終了。3時過ぎに「部屋替えます」と転房となりました。今度は南向きでグラウンドの見える涼風の入る房です。点滴後でちょっと吐き気だけ、片づけ(荷物とかは懲役中の補助員が行ってくれるが)、入った房で整理とバタバタ。友人や姉からお便り。姉の便りの中に、ニュース番組で三線のMさんのインタビューや我が「土曜会」の職が映っていたと「さよなら原発7・16」のこと伝えてくれました。そんな話を聞くと楽しい。Mくんありがとう。高校生だった彼は今は大学生。刑務官になりたいとのことで、東拘面会時、弁護士になった方がいいと言ったのですが、法科大学院行かないといけないう刑務官めざしているみたい。

8月10日 昨日よりの吐き気続き。でも来週16日まで運動がないのでペランダに行ったのですがしんどい。朝みそ汁のスープを飲んで、昼はパンを少しかじり、夜は食べられず。副作用はしびれ(電流が通るようにチクチクするので水は使えず、ゴム手袋を借りて洗濯や食器洗い)。口内粘膜が収縮(食べるときゅっつおしまる)はこれでも慣れていますが、吐き気とめまいはひどいです。「活字中毒」「書き中毒」の私には深刻。活字を見たり字を書こうとするとめまい頭痛吐き気で読めません。ちょうど手術直後のように。困ったなとがんばって新聞を読み、ちょうど届いた姉やMさんやKさんのお便り読んで励まされてます。でも揺れるバスで活字読みたいで少し読んで休憩です。Kさん私の好きなレースのカラスウリの真夜中に咲く花、写真ありがとうございます。今日は仕事にならずベッドで過ごし、早寝です。[「書き中毒」は室による付加です]

8月11日 今日はやっぱり吐き気で何も食べられなくなってぐったり。当直医と看護師さんが心配脱水症予防に経口補水液OS-1(500ml)を飲むようにとよってきてくれた。新聞も読めず。

8月12日 あいかわらずの吐き気とめまい。明日(月)にはDrが来る日なので、抗ガン剤の量を(経口ゼローダ毎朝夕各4錠)各3錠にへらしてもらおう。

8月13日 今日はお盆休み中ながら入浴や面会は平常通り。Drは午後に来る平常スケジュールでしたが、「今日は欠勤とのこと。薬をへらすのはムリ」と看護

師に言われてがっかり。次に主治医が出勤するのは(水)か(木)なのでこのまま続くのかと思っていただけ、4時過ぎ医務部長がみえて、「事情は看護師から聞いた。補助治療のだし、体調を崩すなら薬量をへらしてもいいと思います」と言ってくれた！

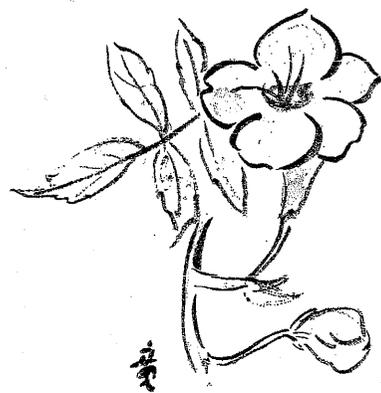
米澤さん「土曜会」でのスピーチは「オリーブの樹」に載せて良いとお便り。楽しく反核脱原発のスケジュールを走り回っている様子です。本は由井さん協力してくれるのは心強いです。Tさん依頼した資料、ていねいにフォローしてくださってありがとう。Mさん闘いの暑い夏を伝えてくれてありがとう。こうしたお便りがとって一番の薬です。

もうオリンピックも終わって紙面は敗戦記念、加害・被害の歴史をきっちり伝えるでしょうか。去年は8月15日を「新聞休刊日」としたマスコミの「見識」のひどさには驚かされたものです。

8月14日 朝起きると吐き気めまいはありますがお腹がすいていました。久しぶりです。それでもみそ汁とご飯少し、昼は食進まず。夕食はご飯半分に久しぶりのトンカツも食べられて少しよくなりました。薬量をへらしたとと身体が抗ガン剤に慣れてきたためだと思えます。みんなのお便りに気分も良くなって、今8月9日からの日誌を書いています。もう字を書いてもめまいがしません。あーよかった！

Sちゃんありがとうございます。お便りと共に自著を送ってくださったのですね。感謝！Tさんから「スゴイ本です。へえー、Sちゃんてさすが『みみずの学校』の校腸先生です。あまりに身近なところにおられるので。なんて鶴見俊輔さんが彼女を評価するのか、初めて、目からウロコが落ちました」[「校腸」「長」を消して「腸」と書いてある]、「初めて」は原稿ママ 室註「こどものギモンに答える本」(PHP研究所)ですって。まだお便りのみですが楽しみです。ありがとうございます。デジカメ歌人の立秋の草津川の写真もいいけど、五首いいです。いくつか。「不渡りの約束手形(やくて)を食らう生玉子握り潰した手に絡まる夏」「若い猫が横たわる隅我も居り風の道あり炎天の家(うち)」。Tさんていねいに資料のこと感謝。新就職、身だしなみ必要な「営業」ですね！そこを大切に成功を祈る！Aハッピーバースディ4歳！

8月15日 「敗戦記念日」。「アジア解放の日」として、アジア民衆が日本侵略軍の敗戦を諸手をあげて祝した日です。今日の新聞に「戻らぬ遺骨113万人」



と67年を経て今も遺骨未収集の現実を一覧表で示しています。当時の侵略地域とそこに残されている日本兵の遺骨の多さに改めて何と無謀な！と当時の「帝国」の野望の跡を実感させられます。アジア諸国が納得するまで謝罪賠償するのは当然でしょう。「グローバル時代」はいつでも排外主義を育てています。日本も韓国も。また今日の新聞一面に、「橋下新党旗揚げへ」の記事。民主・自民公明の保守政で政党政治をぶちこわし、「民主主義」すら機能不全なのにさらにまた保守が登場し、国民の閉塞感・不安・不安を保守で回収する仕組み。国民の要求は明らかに「脱原発」「消費税増税反対」「国民の声を届く政治を！」と求めているのに、それに呼応しうる政策をもった政党は「異端」としてマスコミからも扱いが小さい分、国民の側も信を置かないし、またそれを越えるあり方を小政党の側もつくりだしかねていますね。まだめまいで、書くのも休み休み、読むのも休み休みですが、なんとか乗り越えつつあります。

正午には黙祷（義務ではないと告知放送があった）1分。変革日本を祈念しました。

午後主治医診察。「これまでの薬量なのですが、副作用がかなり強いようですね」と言われ、Drはこのまま抗ガン剤治療を続けるか中断するか、耐えられるかと尋ねられたので、「今は身体も慣れてきて大丈夫だと思います。私としては続ける方がよいと思います」と伝え、継続していくことになりました。味覚障害ですべておいしくないが、とにかく体力回復と、昼と夕と半分くらい食べました。

「情況」やSちゃんが送ってくれた本（おもしろそう！）他、里山の写真の本、救援紙や「靖国・天皇制問題情報センター通信」「アジア新時代と日本」「解放」その他その他の資料受け取りました。めまいがするので少しずつゆっくり読みます。Kさんそちらも熱中症に気をつけてください。Mさん「奈良朝鮮学園納涼フェスタ」に行った話、ありがとうございます。

8月16日 残暑御見舞申し上げます。

MファミリーNちゃんの手紙。小学校1年生の「癒なおってよかったね！」のお便りはうれしい。デジカメ撮り美しい蓮の花「立秋その2」を送ってくださいました。

今日は星・夕食も半分食べました。

8月17日 リラックスにと送っていただいた竹中労「美空ひばり」を休み休み読んでしまいました。「フォ

ーリンアフェアーズ」や田中宇の資料、お便り受け取りました。関西の脱原発の勢いがよくわかります。M子さんありがとうございます。お便り出せなくてすみませんがお礼と暑中見舞い！ 宮崎先生お元気な様子、うれしいお便りです。本はとっっても楽しみ！ です。感謝。Uクン赤字解消に向けた経営努力中？ 楽しくあいかかわらず元気そうですね。うまくいきますように！ N和尚のお便り僧侶として活躍開始おめでとう！ 「7月14日福島県南相馬市、今回、N師に犠牲になった方々の供養をして頂きました。写真は海岸から100メートル、避難していた43名が津波に呑み込まれ、この溜池に押し流され犠牲になった場所。永田師はお経を唱え、犠牲になった方々の供養をされ、読経は鬼気迫るものがありました」と友人のコメント入りの読経姿写真。三里塚闘争長い報告を終え、良い役割を見つけて健闘されている和尚に連帯！ 他友人たち、お便りがいつも夢をえがく力を与えてくれます。ありがとうございます。夕方Sちゃんの本交付、楽しくおもしろい本。もう半分以上読んでしまいました！ 感謝。

8月18日 昨日の続きのSちゃんの本読み終わりました。「こどものギモンに答える本」内容もテーマ、とくに答えがまじめながらのしく、ちゃんとまっすぐな「人のあり方」を含意している本ですね。

今日の新聞では、「シリア監視団撤収決定」の記事。内戦は激化し、憎悪の宗派対立が改革を求めた市民を犠牲にして国の崩壊に至っているようです。「政府、反体制派双方戦争犯罪」と国連の報告書。当初から宗派戦争を叫んでいたのは反体制派の中のイラクにつながるアルカイダ武装グループ。軍事戦は彼らをますます育てています。一方昨日受け取った「フォーリンアフェアーズ」には、米政権のねらいが、リチャード・ハース（米外交問題評議会会長）「有志同盟でシリア紛争への対応を」という一文に示されています。国連のアナン特使とかでなく、米国の意に沿う国々でシリアもイランもやっつけて、その中にはイスラエルをも戦略的に含められる方向へと中東再編したい、そんな野望。逆にそれは反対の結果を生むでしょうけどね。ハースいわく「アメリカを含むシリア問題に関して同じ認識を共有する国は、もはや国連と多国間主義を同じ意味にとらえたり、国連だけが国際的活動に正統性を付与できると考えたりすべきではない。むしろ問題への認識を共有し、対応能力をもつ諸国で有志同盟を組織すべきだろう。例えばNATO加盟国、一部アジア諸国、そしてシリアだけでなく（イランを含む）シリ

アを支える諸国への制裁を強化し、シリアの反政府派の力と政治的アピールを支えていくことにコミットしている諸国で有志同盟をつくるべきだ。バシヤール・アサドとその側近たちを戦争犯罪で訴追することを求めている国、シリアの化学兵器を空爆で破壊しようと考えている国、ポストアサド体制の準備をすべきだと考えている国も、この同盟に参加すべきだろう。

今日は日本の新月。中東は多分、明日断食明け。太陽が沈んだらお祭りの日々。シリア内戦で避難を強いられた人々にレバノンでも「喜捨」精神で助け合っているでしょう。

8月20日 昨日の日曜日から体調も大分回復し、今日はほぼ正常化。といってもまだ経口抗ガン剤を服用中なので、味覚障害もあって食欲はもうひとつ……といったところです。「世界」「情況」「選択」と、めまいで読み切れずにある本を集中して読みだすとやっぱりめまい。ゆっくりペースを落としてやっと「世界」を読み終わりました。今日は部屋検査。休みが明けて通常体制です。Mさんデモや集会であつという間にもう8月も終りはじめたとのこと。脱原発の友人たちに連帯を伝えてください。Mさん面会に来てくださるって・ムリせず、余裕のある時に子供たちと東京タワーやスカイツリーに登り較べたり楽しんで来てください！ 東京拘置所で会った小さなNちゃん、もう小学1年生ですね。「お便りありがとうございます！」って伝えてくださいね。Mクンお便りありがとうございます。脱原発、北海道でもめざしてください。がんばってね！

8月21日 ずっとぎんぎんの夏日。今日もいい天気。34-35℃の八王子です。朝採木採尿。

今日はグラウンドの運動。もうピラカンサが青い実をたくさん付けています。

資料や本、宮崎先生や友人から受け取りました。楽しく読みます。N和尚の僧侶姿の写真も届きました。由井さんお便り感謝。夜、スポーツニュースで、ジャーナリストジャパンプレスの山本美香さんが、シリア取材中に巻き込まれて死亡のニュース。厳しい戦場のあちらの様子が身体によみがえります。ちょうどメイも7、8月は取材に行っているままで大丈夫でしょう。8月末には戻るはずですよ。

8月22日 晴天が続きます。暑さに強い私は元気ですが、みんなはどうしているかな……。「今日はTVはいつもの『バラエティ』ではなく、『オリンピック総集



編』ですよ。見ますか？」と言われて、「見ます、見ます」と応えました。午後、「TVです」と2:30に集合しはじめたところ、診察が入りました。

主治医の診察。「21日の血液検査の結果が出ました。腫瘍マーカーCEAは4.3で前回と同じ値で正常。CA19-9も8.5で正常です。他白血球も4190で正常範囲ですが、薬の副作用で下がる可能性があるので来週もう1回白血球のチェックをして、OKなら9月に入って第2クール（XELOX療法）をやります」とのこと。明日8月23日昼から休薬期間に入り、2週間後の9月5日くらいに第2クールが始まることになりそうです。他血液、尿共に異常なしと言われてホッとしました。

少し遅れて2:50くらいに和室のTV観賞参加。開会式とかは終わっていて、北島選手の話とオリンピックの映像など。ボルトの走りとかオリンピックの様子がチラリとわかるものでした。少しだけ「なでしこジャパン」の映像も出て初めて見ました。各国のポリシーはどうあれ、最善を尽くし尽くす選手たちは感動的ですね。

8月24日 Yさん、ていねいな8月土曜会レポートありがとうございます。くわしく状況中継風に記録してくれるのでとてもよくわかり、参加している気分になります。でもYさんのその分の努力は歴大でしょう？ とっってもありがたいものです。8月の土曜会での「明大生協労組からの報告」で、明大生協がひどいことになったのを知りました。「私、明治の短大1968年卒業です。明大生協で働いている労働者で、現在では4人しか残っていませんが、明治大学に対して、私たちの職場を保障しろという形で宣伝活動、労働委員会への行政訴訟、大学側の起こしてきた裁判にも反論を立証しています」とはじまり、委員長から「私が生協に入ったのは76年、生協が潰される2002年まで生田の購買部でずっと仕事をしてきました。組合として労働争議になって10年目になります。2002年に大学と学生自治会（解放派）の裁判での和解に

大学側が生協を潰してしまっただけで、普通だったら理事会とか政治党派が責任をとってやめます、といことで新しい執行体制ができていくというパターンが多いんですけど、今回大学が生協を潰す、自治会も潰す、ついでに生田寮と和泉寮を生協問題のどさくさで全部潰しちゃったんです。潰し方もひどいもので、明大生協は厚生労働省に認可された生協ですから、解散にあたっては厚生労働省の認可が必要だったんですが、当時2万8千人の組合員がいました。破産になった時5億円の出資金を大学側が踏み倒して学生に返さないまま生協を潰した。そのかわり生協の解散には総代会を開く総会を開く必要があったが、大学はそれをやらす潰した。組合にも『金を払うから受け取って一切争議とか組合活動するな』と切り崩し、『そうじゃないだろう』というメンバーが、今残っている。そういう生協の現実に、かつて反体制派が強い時代に明大生協の理事の一人だった私としては、おどろきといきどおり。当局側と党派が合意してそんなことになっているなんて。現在の日本ではこうした闘いを支援する体制もつくりていないようです。「土曜会」は明大OBとして協力を！他に土曜会の集いの報告は「フクシマ」や南三陸町の復興支援や山形置賜の明大OBKさんらと福島の子どもサマーキャンプ報告やN和尚の僧侶活動報告や現役明大生の「共産趣味サイト」運営者紹介とか盛りだくさんです。いろんな広がり、うれしい報告もありがとうございます！

夜、ふと窓の外を見ると、上弦の月！くっきりと輝いて、思わず祈りたくなります。月の出は12時3分。見たのは7時。明日も月見ができそうです。

8月27日 土日も晴天できれいな月を見ながら低い声で「イマジン」を歌っていました。今日は予報なしに午前中メイが面会！先週末帰国し、さっそく面会に来てくれました。元気な笑顔のあとは山本美香さんの死や現地での状況など厳しく拡大する様子を語っていました。反体制派はジャーナリストをきっちり護らない護れないのに宣伝に安易に同行させ、責任をとらないところが批判されているようです。政府軍への批判はもちろんある上で。あつという間の30分。会えてホッとしました。

宮崎先生MさんUさん他お便り感謝！Kさんなつかしい感じの自然の朝顔きれい！愛犬龍之祐もハアハアと残暑ですね！でも私は夏は好きです！暑くても！

今日はラマツラでイスラエルのミサイルで暗殺され

多PFLP議長アブ・アリの命日です。2001年ちようど公判を開始して4ヶ月、9・11の直前の時です。あれからもう11年。合掌。

8月29日 ずっと晴天。昨日はグラウンドの運動にコーラスも参加。コーラス、大声で歌うのは気持ちいいのですが、ソプラノの先生の美声と反対に高音がまったく出なくなっている私でした。今日は診察で主治医から白血球3820なら大丈夫でしょうと言われました。昨日採血し、次の抗ガン剤治療に耐えうる状態がチェックした結果のDrの話です。来週火にもう一度血液検査をして、OKなら9月6日木に第2クール補助治療の点滴を行うことになりました。体調はもう良好です。

宮崎先生本届きました。ありがとうございます。読みたかった本です！「アソシエーション」や他の資料ありがとうございます！受け取っています。Yさんありがとう。上野さん宅に焼香に行き、御家族から聞いた、苦痛のない安らかな眠りのうちに101歳の命を全うされたこと、知らせてくれました。

8月31日 もう8月尽。朝夕の小さな涼風が気持ちいい。でも日中は30℃以上続きます。昨日は家族面会。いろいろ話すことがあって時間不足のままです。

満月が輝いています。窓から見えるぎりぎりの上空、来月からはもう月見はむりかも知れません。

9月3日 「キタコブシ」受け取ったところです。感謝！「人民新聞」のGALIKO恵美子さんとあのバヌヌ（イスラエルの核を告発した人）のエルサレムヒロシマデーの記事がうれしい。友人たちの手紙受け取りました、感謝。

9月5日 午後、主治医の診察。昨日9月4日に採血した血液検査の結果、白血球3790で好中球1523だったとのこと。「好中球1500以上ならOKです。明日から補助治療第2クールをやりましょう。ただ第1クールの様子からレベルを第1クールよりも下げて、エルプラット（オキサリプラチン）120mgくらい、ゼロダ1日朝夕各2錠の計4錠で行うことにしましょう」とのことでした。今はもう食欲も戻っているので、明日からの第2クールには対応できそうです。

Mさんお便り感謝。「壊された5つのカメラ」、パレスチナの現実を撮った先行上映会が行われ監督のイマード・プルナートさんがスピーチしてくれた様子伝

えてくれました。この映画はイマードさんの息子の誕生から5年間、幾人も逮捕され狙撃され射殺される現場、子どもが「イスラエル兵士を殺したい」と口にする場面など、ピリン村の緊迫したデモと日本のおだやかなデモ行進の違いを感じつつ、映画の核心にある「子ども」について考えさせられました。「子どもを守ろう」というシュプレヒコールも「大人の庇護対象」としての子どもというよりも、パレスチナも日本ももっと広義に「子ども=未来」と考えるようになってきたと思うとのこと。また6回目となる「10・21反戦・反貧困・反差別共同行動」は福島原発訴訟団の武蔵類子さんと金子勝さんが参加される様子。きっと盛況ですね。今の脱原発の人々の切実な意志を反映して、Mさんは地元で「さよなら原発大和高田の集い」を9月1日に初めてやって、50人以上の方々に参加されたとのこと。駅前署名も1ヶ月がんばるとの力強い地元での始まりの活動いいですね！

あ、それから今日は転房になりました。でも同じ南向きです。風が入るので朝・夜涼しいです。

9月6日 今日みんみん輝で始まる朝です。晴天の日とはくに晴れています。今日の運動はグラウンドで気持ち良さそうですが、ちようど今日からの補助治療第2クールの点滴時間と重なるので不可。ベランダの運動は9時頃なので加われそうです。グラウンドの運動日でもDrの許可の出ていない人はベランダで運動します。その中に入ってウォーキング。ふうせんかざら実は5つ。風に揺れてかわいい。ウォーキングを終えて10時。すぐ第2クール開始の点滴。汗を拭く間もなく下着を替えて診察室へ。主治医はエルプラット125mgとしたとのこと。第1パックを取り付けてもらいました（第1パックは生理食塩水に吐き気止めなど）。第2パック11時20分から13時20分くらい（抗ガン剤を入れたパック）。第3パックは生理食塩水で血管を洗浄、14時に針を抜きました。昼食はまだ抗ガン剤が作用していないためか8割くらい食べられました。14時過ぎから手の指の痺れ感、口内の粘膜の痺れ感が出てきました。でも薬量を減らしているので大丈夫でしょう。

宮崎先生が送ってくださった孫崎亨著「戦後史の正体」を読んでいます。「米と親米勢力に日本国民は洗脳・情報操作されるな」と考えつつ読んでいます。とても興味深い記録です。左翼や海外では「日本は米の戦略に組み込まれている」「米に戦後からずっと従属している国」などと一般的に言われていました。それを

「ポツダム宣言」から詳しく資料に基づいて明確に示している点は大事なことです。天皇が沖縄（および必要とされる他の諸島）に対し米国が軍事占領するように積極的に発言したことや、現在の検察特捜部はGHQの管理下でスタートした「隠匿物資事件捜査部」を前身とし以来米側と結びついていること、占領政策が終り「講和条約」（進歩派が「全面講和」を求め闘ってきたが結局米国占領支配の継続のようになった条約）後もずっと米占領政策推進派の吉田茂が内閣を牛耳ってきたこと。米戦略の米国の都合による変化に振り回されつつ日本外務省の内部に、今でもアメリカ至上主義者の従属派と「自主派」があることなど詳しく示されています。自主派はいつも潰されてきた歴史も示されています。国民にとって、良いこと、たとえば「平和憲法」などは米国の押しつけか否かにかかわらず国民が財産として日本の平和を築いてきたので、50年代「逆コース」や吉田内閣に対しても、また今に至るまで米政府とも闘う武器として9条があることを逆にしつかりと踏まえたいものです。内容では米CIAの陰謀策術（ラテン米、中東、東欧、欧州で見られた）は抑えてあまり具体的には書かれていませんがいろいろあったでしょう。またイラン大使だった著者は、イランと日本の石油開発での米の妨害をもっと知っているでしょう。もっとも当時アラブの友人たちは「米国が必ず日本に『やめろ！』と言うし、それにしたがう癖に、何で巨額の金をムダ使いするのか？」と真顔で質問されたものです。「日本は米政策を甘く見ているから」と答えたものです。

資料など感謝！「オキュパイ大飯の乱」、それに大阪阿倍野や地域の集会デモのピラは元気が出ますね!!お便りもありがとうございます！

点呼あとの八王子。今どつと夕立が降り始めて涼風が入ってきました。点滴で少し吐き気のある今の私にはとつても気分のよい風です。雨が止んで、こおろぎが鳴きはじめました。

風の道すがり遡うごと遠い伸びる

風船かずらの揺れる夕暮

9月7日 今日は白露。秋の野草に露が宿りはじめる秋。窓の外にも赤とんぼが時々すいすいと飛んでいきます。でも昨日の点滴と経口抗ガン剤服用開始で朝から吐き気。それでもベランダに出ると、風船かずらとゼラニウムに新しい一鉢ペチュニアの赤ピンクの花。ゆっくりとウォーキングして入浴。でも昼も夕食も食

べられずの一日になってしまいました。「9月25日秋彼岸法会参加しますか？」との知らせに「参加します」と答えました。

宮崎先生、楽しい本ありがとうございます。「紙の爆弾」その他もありがとうございます。住所違いで戻ったというカンパもありがとう。姉にもいろいろ無理なお願いすみません。感謝。

9月10日 今日もう蝉の鳴き声が朝から聞こえませんでした。週末は虫の書き声盛大、虫時雨です。今まで週末もずっと抗ガン剤副作用に悩まされつつ過ごしています。読みものを読むと吐き気になるのでおもしろい読書も休み休み。その間に短歌を詠んでみたり……。でも体調が悪いと歌もなかなかです。今日もまだ朝夕の涼風の他は30℃を越す汗ばむ夏日です。吐き気で食べられないのに、お腹がすいて少し夕食を食べました。きっともう明日くらいからこの吐き気も治まるでしょう。

大阪では9・8脱原発シンポジウム、「さわさわ」の友人たちは合流してお茶飲む約束とのこと、いいね！みんなよろしく。昨日はオスプレイの米軍普天間飛行場への配備に反対する沖縄県民大会があり、友人たちも参加したでしょう。電気は間に合っていたのに原発再稼働、企業優先の消費税増税、オスプレイにみられる米政策への従属。国民の要求と無関係な党首選。この国は大震災も大津波も「フクシマ」も政治家には他人事のような扱い。権力にしがみつく自民・民主連合の政権が来年も生まれそうな不健全さです。あきらめずに「脱原発」「オスプレイ反対」の波が新しいものをつくっていくのですね。

9月11日 9・11。新聞朝刊に9・11のことは一つもない。でも届いた10日夕刊に、沖縄では10万人を越える「オスプレイ配備反対」の県民集会が開かれたこと、沖縄の人々の声が少し載っています。今日から副作用が抜けたように朝から空腹感。8割ほど食べました。昼も(カレーうどん、豚肉しめじ炒め、うずら豆、フルーツ缶)8割くらい食べられました。食べ過ぎて夕食は少々。ほとんど吐き気期間が終わりました。でも抗ガン剤の投薬は9月20日まで続きます。点滴と初期の4-5日の辛さを越えるとあとはまあ大丈夫です。

9・11から11年。プッシュも小泉も責任を取らず、「反テロ」戦争の後遺症はアフガニスタン、イラク、中東ばかりかグローバルな格差の広がりをなしていま

す。

9月12日 晴天続きで関東は節水が問題になりはじめています。今日も8月の暑さ。ペランダの運動から戻ると、布団は干すために持ち出されていました。それにノート検査、入浴、日用品の購入書込みと9月になって気ぜわしい日常です。

午後、主治医の診察があり、9月6日点滴に始まる第2クールも副作用が薬量減らしたにもかかわらず強かったこと、昨日からは吐き気も止まったことなど伝えました。Drも「抗ガン剤は強いですねえ、薬量を2段階減らしたのに」と言っていました。「副作用はもう大分治まっているので大丈夫です」と私。それでも薬のせいで、安静時間以外の3:00-夕食、5:00点呼-9:00滅灯もベッドでごろんとしています。食欲出てくれば体力もアップするはず。18日に腫瘍マーカーのチェックと白血球チェックの血液検査をし、10月の第3クールでこの補助治療は終わります。

もう蝉も鳴かず、とんぼが飛び交い、夜は虫の鳴く秋です。

八王子は今年限りとなりそうな私。体力を回復しておかなければと思っています。次に向けて!!

[重信さんの今号時点での体調様子などと手紙差出人をゴシック表示にしました]

112号 お詫びと訂正	
2頁4行目	八王寺→八王子
同頁5行目	再開→再会
4頁左列10行目	……日本とは?と聞かれて、小さな島……→……日本とは?と聞かれて、「小さな島……
4頁左列24行目	CTに装置→CTの装置
4頁左列下3行目	肌感じ→肌で感じ
6頁左列6行目	とき 削除
6頁右列13行目	寛大な・措置→寛大な?措置
8頁左列3行目	かんね→からね
10頁左列14行目	主張→出張
10頁右列24行目	手術中のリンパに→手術中にリンパへ
11頁左列28行目	シャープ→シャンプー
11頁左列末行目	レモン一切れ→レモンティ
11頁右列3行目	点T記→点滴
11頁右列下12行目	800→80
11頁左列14行目	・右列下5行目 使命医→指名医

ヒロシマ被爆者：米澤鐵志さんのお話

(7月16日、「明大土曜会」例会、御茶の水・もんじゃ焼き屋「祭」にて)

ご紹介いただきました米澤です。

私は1934年の生まれで、この8月で78歳になるんですけども、小学校5年の時に広島で被爆したんですが、その頃の話をお話して、もう今年になってから12-3回あちこちで喋っているんですけど、そんなことで機会があったらどこでも喋りに行きます。実は喋り出すと1時間半以上かかるんで、30分以内は無理だと思いますが、京都の市職労の分会で喋る時は、分会は弁当を出して、弁当食べる前で1時間喋るんですね。

ですから、そういうのに慣れてますので。「祭」で料理が出てるので、食べながら聞いてくださいという意味。)

丁度私は5年生で田舎に疎開していたんですけど、たまたま親父が戦争に取られまして、母親と兄弟5人で疎開していたんですが、その前にいろいろあるんですが、それは抜きにして、山の中に疎開していたので、たまたま日用品が足りなくなったので、広島に荷物を取りに行こうということで、小学5年の私と、3年、1年、幼稚園、そして親父が出征して生まれた子供で全部で5人いたんですね。

母と私は8月6日の、その頃切符がなかなか手に入らなくて、人づてに頼んで手に入ったのが8月6日の朝6時半に志和口という駅を出る切符だったんですね。山の中に居ましたんで、私と母は4時頃起きて大きなリュックを持って、山を下って、1番列車に乗って広島に向かったんです。

丁度1時間かかりまして、広島駅の着いた時が7時半だったんですが、7時半に広島駅に着いてですね、私たちは初めてなもので慣れていないので、電車に乗るのにもものすごい人が並ぶ訳です。それでなかなか電車に乗れなくて、1番列車ですから、あとから次から次と来ます。やっと3台目か4台目の電車に乗れたんですが、もう詰めるつめるでギュウギュウ詰めですよ。僕は子供ですから窓際に行きたいですね。ところが全然窓際に入れなくて、真ん中の真ん中に詰め込まれてしまったんです。

暑くて往生していたらやっと電車が出まして、市内の西の方に向かって電車が走ったんですけど、広島駅から15分くらい行ったところに八丁堀りというところ

ろがあるんです。そこは広島で一番高い建物の福屋百貨店というのがありまして、その福屋百貨店のところに電車が入ると同時に原爆が落ちた訳です。

すさまじい音をしてドカーンと、広島ではピカドンというんですけど、ただ電車に乗っていた人で生き残った人の半分以上はドーンは聞こえなかったという人が多いですね。聞いたことがない音だったから聞こえなかったという人は爆心地に近い人多いです。

最初、ピカッと光ってドーンときた訳ですけど、最初の爆風がすさまじいんですね。丁度福屋百貨店の前が220メートルの爆風で、ガラスが全部吹っ飛びまして、電車の中は阿鼻叫喚ですよ。血だらけになっている人、そこで死んだ人もおると思うんですが、そこは僕ら分かんませんが、とにかく倒されて、たまたま僕は背が低いので、母親も真ん中にいたんですね。母もガラスの破片が入っていましたが、二人とも大した怪我がなくて倒れた訳です。

母は私の手を引っ張って、「鐵志大丈夫か」ということで、「うん大丈夫」と言うたら、とにかく出ようというので、私の手を引っ張って、倒れた人の上を踏みながら電車の外に出たんです。

そしたら電車の外は真っ暗なんです。何故かと言いますと、当時の家屋は95%以上木造ですね、ですから市内の中心地ですけども、すさまじい爆風で高いところで30メートルも家が持ち上げられて、それがパーンと落ちた訳ですから、すごい土煙なんです。

それで外へ出たら全く何も見えないです、真っ暗です。母と私は電車の外にタオルをくわえて出たんです。電車の外に出たら、母と私は耳と目を押さえて、タオルを口にして伏せるんです。その頃、小学校1年生でも空襲になったらそういう風にするように教育されてまして、地に伏せたんです。土埃ですからしばらくすると薄明るくなってきて、周りが見えるようになった訳です。そうしたら、周りを見たらもう完全にガレキの山ですね、こちらに鉄筋の建物が、今言いました福屋百貨店とあと少し見えるけども、後はガレキの山でまったく何にも見えないような状況でした。

私は実際には紙屋町というところを通過して舟入に行くつもりだったんですけど、そっちに向けて母親と二人で動きかけたら、向こうから来る人は本当に焼け

焦げの人ばかりが来る訳で、それも死にかけた人ばかりが来るんで、それで道端に倒れている人を見たら炭だらけになっている人までいる訳です。それで、結局、母と私はこれはダメダということで、北の方の白島というところに母方のお祖母さんが住んでいたの、白島の方に逃げて行ったんですが、最初に気が付いたのは、前に歩いている女の人の背中に黒い点がボツンとあるんです。逃げるのに必死で何となくそれを見ていたら、その黒いものがスーと広がっていく訳です。結局火が付いているんです、シャツに。火が付いてやって髪の毛に燃え移る時になって、周りも言いますし、本人も気付いて、防火水槽に飛び込むのを最初に見ました。

その次に見たのは、やっぱり前を逃げていた女の人で、肺まで行っているんじゃないかというくらいこれくらいの三角定規のようなガラスが刺さっていたんです。それで血がスーと落ちてきて、モンペの背中の中のところまで止まって血がズーッと広がっていくんですけど、本人は全く気付かないんですね。そういうのが結構見られました。

それで、私たちがしばらく逃げると、左側に西練兵場というのがあります、兵隊が恐らくそこで訓練していたんです。その兵隊が100人から200人、1部隊か1小隊か知りませんが、出てきたんです。年寄りばかりでしたけど。出てきたのを見たら軍服は全部焼けているし、シャツもちぎれている、ゲートルも全部ちぎれているというすさまじい形が出てきたんです。それでも軍隊は軍隊ですから、編上靴のザックザックという気持ちの悪い音をさせながら逃げてるのに出会って、母が兵隊に付いて後ろを逃げたら安全なところに行けるだろうということで、白島のお祖母さんのところに行くのはあきらめたんです。というのも、あちこちから火が出てきて、8時15分というのは朝飯が終わって、当時は電気もガスもないですから全部炭とか薪でお茶とかおかゆを炊いたりしていた訳です。その上に木造の建物が落ちてきた訳ですから、あっという間ですよ。であちこちから次々と火が出てきて、それで逃げる方向もままならない訳です。

それで兵隊の後ろについて逃げて、そうしたら兵隊が太田川の元安川というのがあるんですが、それは本川からちょっと分かれているところで、広島駅から約500メートル上流のところにある大きな河川敷がありまして、その川に降りていったんです。

そうしたら、河川敷にもものすごい人、それこそ1、

000人以上の人が逃げたと思うんですが、お互い知った人がいると良かった良かったとか、誰々がどうしたということを書いてました。

私は朝早くから起きて、満員電車で揺られて疲れていたの、とにかくヘトヘトになっていたんで、たまたま大きな船が砂の上に置いてあったんです。母と私はカンカン照りの太陽のもとで砂の下に頭を突っ込んで、お腹から上くらいを船の陰に入れたんです。座ってしばらくしたら、急に母も私もものすごい頭痛が痛くなってきて嘔吐が始まるんですね。

砂を掘ってそこにげーげー吐くんですが、朝から何も食べていなくても上げてあげてどうしようもないんですわ。涙は出るし鼻は出るし、それでもしばらくの間、30分くらいはげーげーしていたと思うんですが、出るものも何にも無くなってですね、グッタリとしていたんですね。

その時に見た光景で非常に印象に残っていることをお話したいんですけども、そういうあげたりした人が沢山いたんですが、一番僕の印象に残ったのはですね、当時中学生、女学生というのは、1・2年生が建物疎開に残されて、3・4年生は全部工場の動員とか百姓とかにやられていて、1・2年生は建物疎開、屋根の瓦を全部下ろして大きな綱を付けて（建物を）倒す訳ですね、これは江戸の火消がやっておったように、類焼を防ぐためにズーッと建物を潰していく訳ですね、それで道路を広げて類焼を止めるという、それを広島の中学生、女学生の1・2年生たちが中心になってそれをやっていた訳です。

国防婦人会と在郷軍人会の人たちが指揮してやっていた訳です。そこへもってきて帽子とか半ズボン、半袖シャツくらいでやっている訳です。ですから、恐らくその中学生たちは3千度から5千度の光線を直接浴びている訳です。僕の想像では、1.5キロ以内の疎開作業をしていた人は全部死んだんじゃないかと思うんです。大体1.5キロから外でやってた連中は、同じようにやられまして、ものすごいやけどをして全員裸です。全く何もなくて「お母ちゃん、お母ちゃん」と言いながら逃げたんですけど、その時の可哀そうな感じというのは、やけどをすれば水ぶくれができますよね。そうすると、丁度シャツのところと、直接光を浴びたところでは、やけどの差が違いますから、ここからちぎれるんですよ。

これが水ぶくれですから、落ちてきて、爪のところまで全部止まるんです。皆そういう感じで前に手をやって、子供たちが泣きながら「助けてくれ」と言う訳な

んですが、前が川ですから、やけどの水ぶくれで完全に脱水状態ですから、川に向かって行く訳です。

川に浸かるかどうか、水を飲む前に流れるんです。恐らくこれはショック死なんですね。これは子供たちだけでなしに、大人もそういう人が沢山いるんですけども、浸かると同時に雑巾が崩れるみたいに流れていく。それで敵が毒を流したというので、我々も川の水を飲みたいと思ったけれど、我慢せざるを得ないな、と思ったんです。

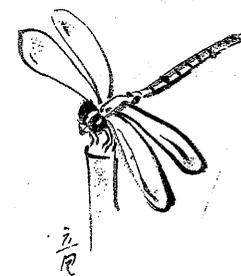
そうこうしているうちに、その川は爆心から2キロ地点の場所なんですけれど、全市が燃えていますから、火の粉は飛んできては、暑くて、そこに何千人以上の人がいたと思うんですけど、皆たまたまなくなって、川を渡って反対側に逃げていく訳ですね。

死んで流れていく人がいっぱいおるんですけど、母と私はやっと浅いところを通って向かい側に渡りました。そこは「にぎつ神社」といまして、そこにごつついごつつい桶がありまして、樹齢100年か200年の桶がありまして、母も私も朝から疲れてしまって、嘔吐もしたし脱水もしているんで、樹の下で二人ともぐたーとして横になっていたんです。

そうしたらしばらくすると、急に暗くなってきて雨が降ってきたんです。ポツリポツリと降ってきた雨を、樹の下で見たら黒い油のような雨なんです。それで慌てて、僕は空襲というのはその頃誰でも予想していましたから、防空頭巾を被って、ちゃんとシャツなんかも持って出たので、シャツを着てタオルを持って雨を避けたいんですけど、丁度その場所ではポツリポツリとしか降らなかったんです。5分くらいで雨は止んだんです。それで私たちは黒い雨には当たらずに済んだんですけど、広島の方には相当ひどい雨が降って、井伏鱒二の小説のように沢山亡くなった人がおるみたいです。

母も私もぐったりしていたら、たまたま10人位の兵隊が通りかかりまして、「すぐそばに東練兵場があって、弾薬庫が爆発するかもわからん。大変なことになるからここにおたらいかんし、逃げろ。」と。母も私も動く気がないんです。「いいです。」と言ったんですけど、兵隊が無理やり引っ張るようにして逃げて行ったんです。

逃げていく途中で、畑に大きな井戸がありまして、そこにずらっと人が並んで、その頃珍しいポンプの井戸だったんですね。それで井戸から出た水で皆顔を洗ったり飲んだりしていたんです。それで私たちがそこに並んで水を飲んだんですけど、私は一口飲んだらぐ



わーっと嘔吐したんです。それでもものすごく喉が渴いていますから、次にもう一杯飲んだんですがダメで、嘔吐して受け付けません。しょうがないからうがいで済ませて終わらせたんですが、その時に、不思議なことに母親は同じ条件なのに嘔吐しなかったんです。

ちょっと歩いたら、たまたまトラックが来まして、トラックは軍が出した重症者を収容するトラックだったんです。トラックが止まって、「この中に重症の者はいないか」と言ったんです。そうしたら我々と一緒にいた兵隊が「この親子は怪我はほとんどしていないが、疲れているから歩けないし、引っ張ってきたんやから乗せてくれ」と言ったら、「まあいいだろう」ということで、兵隊たちが母と僕を荷物のようにトラックの中に放り込む訳です。

トラックの中に放り込まれて見たのは、周りの人は複雑骨折であちこち脂身は出ているし血は出ているし、すごいんですね。それで中には虫の息の人もあるし、もしかしたら死んでいた人もいたかも知れませんが、そんな状況でも母も私もビックリしてまた上げそうになったんですけど、その中で一番だったのは、トラックのはず向かいにいた女の人が、不図見たら目がポコッと穴が開いているんです。人間は目玉が落ちたらこの開け方はひどいですよ、こんな大きな穴がポコッと開いて目玉を手のひらで受けて、それを見た時、母も私も抱き合っ、あの記憶は一生忘れないですね。

それでやっと矢賀という機関区の駅、救援列車がそこに来るのでトラックで運ばれたんですが、そこに着いたんです。

そこでは大人の男の人が、上半身裸で来たんじゃないかと思うんですが、腰巻みたいに皮膚を腰からぶら下げているのが印象に残っていますね。列車がホームで突き当たりのところがありますね、そこに重症の人が結構おったんです。

亡くなった人もいるし、虫の息で低い声で「助けてくれ」と言っている人もいます。何でそんなところにいるのか、後で考えたら、ちょっとでもそこが涼しいからいたんじゃないかと思うんですけど、僕らは

ホームの上でリュックを枕にして横になっていた。

3時過ぎに救援列車が来まして、救援列車に乗ったんですけど、もう我勝ちに窓から乗る人もいるし、なかなか乗れない人もいるし、僕なんかデッキを通過してやっと列車に乗ったんですけど、列車の中もガラスが全部壊れていますから、ガラスの破片だらけの中に入っていた訳です。それで、途中で死者なんかを降ろしますから、朝6時半に出た志和口の駅に夕方に着いたんです。死者を最初に降ろして、重症者を担架で降ろして、最後に自分で動ける者が降りる、僕らはヨロヨロしながら降りたんです。

そうしたら、私たちが広島に出たことを疎開先の親戚の叔父さんが知っていたんで、叔父さんと村長が迎えに来ていたんです。それで僕らが降りてきたんで「いやー無事だったか」と言って非常に喜びまして、ところが僕らはクタクタやから、そこから疎開先まで10キロありましたから、とてもじゃないけど帰れる状態じゃなかった。

村長が「親戚の家が志和口の駅前にあるのでそこに泊めてやる」ということで、親戚の家に入れられて顔を洗ってお茶を飲んだ。その時はもう戻さなかったですね。その晩はそこに泊めてもらって、次の日の昼くらいにやっと重湯を出してもらって、昼過ぎに母と二人で山の中の兄弟が待っているところに行き着いた訳です。それが8月6日と7日の出来事だったんです。それで終わればよかったです、敗戦が8月15日ですね。私の家は4代続いた医者でして、性能のいいラジオがあった。ラジオが山の中でなかなか入らんですが、敗戦で天皇の放送があるというので、部落の十何軒の人たちが全部僕の家に来まして、天皇の放送を聞いたんです。私はおかしいなという感じがしたけど、非常に暗い雰囲気だったので、戦争が負けたんじゃないかという感じがしたんですが、中身は良く分からない。

それで村の人が三々五々帰って行ったら、母親が「戦争は終わったよ、お父ちゃんが帰ってくる」と言って泣いていたんです。それはうれし涙だったんですね。

子供は次々に生まれるは、父親は甲斐性が無いし、兵隊に取られるは大変ひどい目に遭って敗戦になって、これで先が見えたということで喜んだ訳です。それが8月15日のことなんですけれども、それから2日後、17日の朝、起きて目が覚めたら枕カバーが黒いんですよ。おかしいなと思ったら、髪の毛がビシーと枕カバーに付いているんですよ。

こうやったら髪の毛がパラパラ落ちるんですよ。痛くもかゆくもないですよ。あれっと思って握ったら、その頃子供は5ミリもない丸坊主ですが、こうやるだけでパラパラと全部落ちてくる訳です。

それで「えらいこっちゃ、お母ちゃん、髪の毛が抜けるで」と言ったら母親も同じで、櫛を入れたらザツと抜けるんです。その日のうちに母も私も髪の毛が全部抜けて、丸坊主になるんです。そうしたら、その晩から2人とも熱が出て、高熱が出て嘔吐が始まるんです。40度以上の熱が毎日続いて、朝方になると少し戻ってくるんですが、ところが喉が渇くでしょ、それで水かお茶を飲むとまた上げるんです。そんなんで生きた心地が全く無くて、それが2週間以上続いたんです。

結局、9月1日に母親は全身に青あざが出来て亡くなるんです。母が亡くなったということで、お祖父さんが広島で開業していたんですが、大江健三郎の広島ノートに出てくる被爆しながら医療をしていた医者で米澤貞二というんですが、その祖父さんが長男の嫁が死んだということか、重症かというかどっちなかで山の上に上がってきて、私を一目見て「鐵志はこれはダメじゃ」と言って、往診カバンを持ってきていたんですが、何もせずに帰ったんです。

それで周りもそう思ったんですね。ところが不思議なことに、祖父さんが帰ったすぐ後に大量の回虫を嘔吐したんです。丁度うどんのような長さの虫ですが、当時国民の99%は持っていた。それが洗面器に半分くらい出て、鼻からも口からも出て、意識が朦朧としている中で出たんです。周りは回虫が出るくらいやからもう終わりだろうと判断して、もう葬式の準備ですね。そうしたら不思議なことに熱が引いたんです。熱が引いて喉が渇きますから、上げてもいいから欲しいんですよ。それで「お茶が欲しい」と言ったらお茶を飲ましてくれて、そうしたらお茶が美味しいんです。「もっと欲しい」と言ったら周りがびっくりしまして、すぐ重湯をこしらえてくれて、上げないし、お腹は骨と皮ですから、「もうちょっと欲しい」、もしかしたらこれは助かるかも分かんないと周りが考えまして、自然薯とか卵とか鳥のスープとか、生まれて初めてというくらい美味しいものを食べました。

それで17軒の部落のうち7軒が親戚なんです、あんなひどいのがもしかしたら生きるかも分かん、ということで毎日何か持ってきてくれるんです。それで元気が出てきて、10月の末には完全に回復して学校に行けるくらいまでになったんですけど、学校にい

ってからも大変だったのは、頭が丸坊主なので、その頃は差別がきついですからキンカンキンカン、ハエが止まったらすぐ滑るとか嘸し立てて、悪い奴は頭をなでる、最後はソロバンでこうやる奴がおる。僕は非常に負けん気が強かったから、すぐにどやしたり、棒切れ持って殴りかかったりして、あんまりストレス感じなかったです。

実は皆さんにお話しておきたいのは、さっき言いましたように妹が親父が戦争に行った後に生まれた子で、まだ1歳になったかならずかだったんですね。その妹が、母親が6日に被爆して7日に帰ってきて、熱が出るまで10日足らずですが母乳を飲ませたんです。

そうしたら10月に入ってからボツリボツリと髪の毛が抜けだしたんです。そして10月19日、母の49日に息が絶えたんです。ですから、内部被爆というのがいかに恐ろしいかということが、この妹の例でも明らかでありまして、このことは福島事故のように内部被爆を無視したり軽視したりすることに対する重大な警告になると思っています。妹が死んだときも、僕らも原爆で死んだとは思っていませんでした。父親も帰ってきて、僕のすぐ下の妹が、死んだ妹の「髪の毛が抜けたのは原爆の所為と違うやろか」と言ったら医者である親父が「それはないだろう」と否定しましたから。後には被爆したことがはっきりしたんですけど。

皆さんに是非知って欲しいことが一つ二つあるんですが、1つは何故、私が生き残ったかということが大きな問題としてあると思うんです。

私が乗っていた電車が、当時広島では木造の電車で鋼鉄製が2、3台しかなかったんですけど、その鋼鉄製の電車だったんです。ですから三千度の光線を浴びた時にすぐに火が上がらなかったんですね。それが一つ大きな原因。それと人垣が一番大きいんです。昔被爆の話をした時に、京大の工学部の荻野さん、電磁波で有名な人ですが、30年くらい前に私の話を聞きまして「君は周りの人が全部放射能を吸い取ってくれたんだ」と、人間の体というのは一番放射能を吸いやすい、満員電車だったのが第2の原因ですね。

それと、その日のうちに広島を逃げて広島に戻らなかったということです。あと黒い雨を浴びなかった、それと水を飲んで嘔吐してしまっただけ、それからもしかしたら回虫も原因があるかもしれません。

それと、たまたま電車が福屋百貨店の下に入っていて、原爆が680メートルのところで爆発しているんですけども、福屋に当たって直接光線が来ていないん

ですね。それも大きな原因の一つだと思っています。そういうことで生き残ったんですが、その中で私が皆さんに是非知ってもらいたと思うのは、実は当時広島で被爆死した人、被爆死というのは1945年の12月いっぱいまで死んだ人を被爆死というんですが、広島原爆記念館が出来て被爆死した人が13万人と書いてある、その2年後には14万人になりましたが、書いてあります。

その時に見て思ったのは、当時広島には朝鮮人が5万人いたんです。広島には日本製鋼、三菱重工、三菱造船などがあって、朝鮮人がずいぶんたくさんいました。

当時の広島の被爆人口が35万人ですから7人に一人が朝鮮人です。それで僕が小学校に行ったときは朝鮮人の友達がいっぱいたんです。

20年くらい前の統計ですが、5万人の被爆者のうち、3万人が被爆死しているんです。13万14万のうち3万人が被爆死しているんです。それを計算すると、日本人の被爆というのとは3割強なんです。ところが朝鮮人の被爆死は6割だということです。

これは何故かと言うと、我々は疎開していたが、彼らは行くところがない。焼けただれ戻ってきて、焼け跡が焦っているうちに戻ってきて太田川の水を飲んで放射能を沢山食べて、ですから日本人の倍の被爆死になった。日本人の倍の被爆死といいますが、本当は、朝鮮人部落は爆心から1キロ以内にはないんです。1キロより離れたところにいる訳ですから、日本人より低くなければあかんのですが、実際には倍。そういうことを皆さんに是非知ってもらいたいと思うんです。

それともう一つ、僕が小学校6年の終わりで帰ってきて、中学校に入った訳ですね。中学校に入ったら朝鮮人の友達が一人しかいないんですよ。それでおかしいなと思って、新井君とか金光君、こういった仲のいい、すぐ近くに朝鮮部落があって、仲のいいのが沢山いたのが、一人もいないんです。不思議に思ったけれど、朝鮮人は解放されて帰ったんだ、と言う風に思っていた訳です。

僕は集団疎開していたんですが、その集団疎開に朝鮮人がいなかったことを何かで気が付いたんです。集団疎開というのは町内ごとで何十か所として行きますから、友達に「変な事聞くけど、おまえらのところに朝鮮人おったか」という話をしたら「さういえば見なかった」と誰も彼も言うんです。不思議だなと思って、僕は朝鮮人被爆者の人に「実は集団疎開行ったことがあるんやけども、朝鮮人は見んかたけども、どう

オリーブの樹 第113号

なったか」と聞いたら、その時は小学生1・2年生を除いて3年生以上は強制的に疎開させられた。ですから、僕の同級生で被爆したのは300人くらいいる学生の中で2人しかいない。

それが朝鮮人がどうだったかという、恐れ多くも天皇陛下の赤子にさせていただいたんです。半島人は、ということは子供といえども銃後の守りをせなあかん、疎開などはもつてのほかだということです。疎開させてもらえなかつたんです。

ということは、僕の友達も恐らく、その3万人の中に入っているんじゃないかと思いました。その時は本当に慚愧の思いがしましたね。

その話を僕が小学校ですと、小学校の子供たちは十人に一人くらいは、「日本は拉致よりももっと悪いことをしたんだ」という感想を書いてくれるので、私はそのことは必ず付け加えて話すようにしています。

(終)

<米澤鐵志さんのプロフィール>

1934年8月生、45年8月6日、広島島の爆心750メートルの八丁堀で、電車内被爆。一緒にいた母は9月1日死亡。母乳を飲んでいた妹も10月19日死亡。米澤さんも全頭髪が抜け、40度以上の高熱が続き、死地を彷徨うも奇跡的に回復。58年、立命館大学入学。60年、立命館大学二部学友会委員長とし



7月16日の「祭」でのお話の前、代々木公園の「さようなら原発10万人集会」内の四大学集会でスピーチする米澤さん。

て安保闘争参加(全学連反主流派)の中核として戦う。75年頃から小学校、大学、病院、各種集会などで被爆体験講話を年7、8回平均で行っている。

後書

「独居より」に「イマジン」を歌ったとある(8月27日)。ウロ知りだったのでネットで見たらあった。折角だから掲載します。

Imagine there's no Heaven / It's easy if you try
No Hell below us / Above us only sky
Imagine all the people / Living for today

Imagine there's no countries / It isn't hard to do
Nothing to kill or die for / And no religion too
Imagine all the people / Living life in peace

You may say I'm a dreamer / But I'm not the only one
I hope someday you'll join us / And the world will be as one

Imagine no possessions / I wonder if you can
No need for greed or hunger / A brotherhood of man
Imagine all the people / Sharing all the world

You may say I'm a dreamer / But I'm not the only one
I hope someday you'll join us / And the world will live as one

重信さんは希望して四度目の“切腹”をするようです(8/1,9)。体力を案じ祈るのみです。 Q

*50首ほどの歌が届き、竜子さんが表紙歌、室が表紙裏歌を選ぶ。表紙と後書が共に「イマジン」を選んだのは偶然。

連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル5階

救援連絡センター気付 「重信房子さんを支える会」

郵便振替 00110-4-613941 オリーブの樹

銀行口座 三井住友銀行 赤羽支店 226-3687269 オリーブの樹

頒布価格 500円

